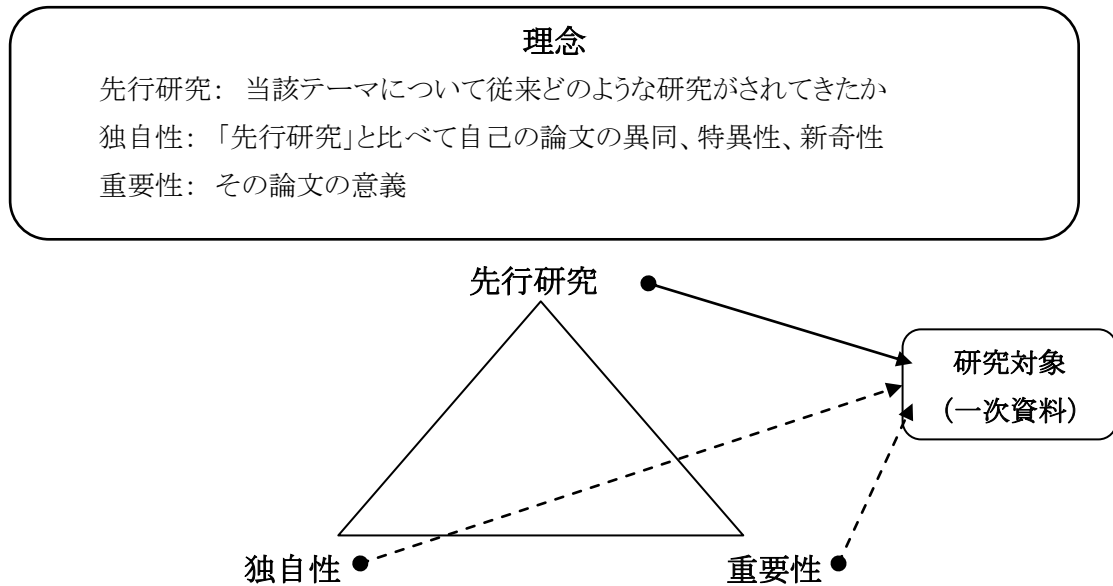


修士論文

I 理念編:論文を書くとはどういうことか？

1. 研究対象について調べる→何かを明らかにする(下記Ⅱ.)
2. その「明らかにしたこと」がオリジナルで且つ重要であることを示す(下記Ⅲ.)

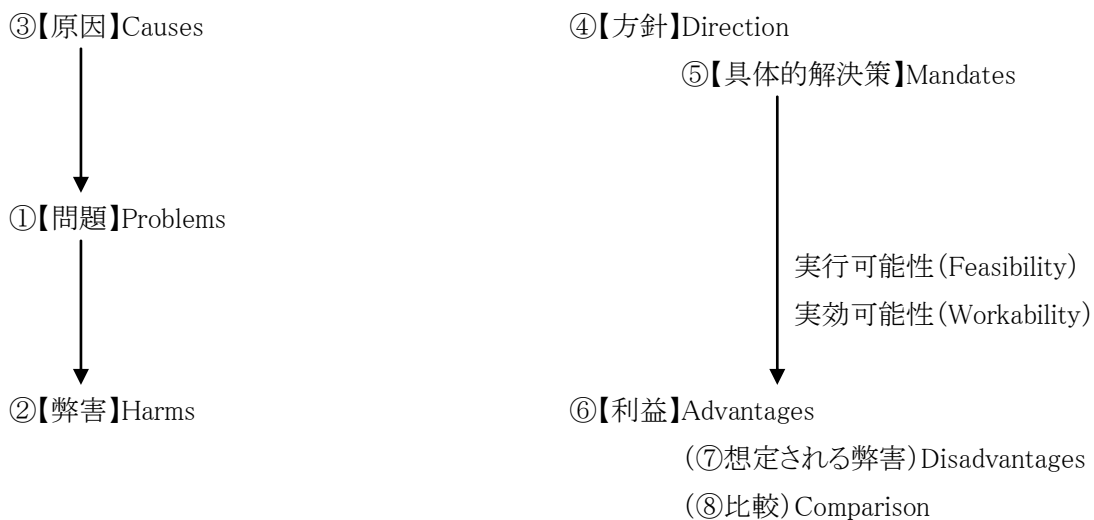


● 一次資料と二次資料

研究対象そのものが一次資料／一次資料について言及しているものが二次資料
通常、先行研究とは二次資料を差す

Ⅱ 枠組(フレームワーク)を定める

- ① 問題の所在、何が問題なのか？
- ② その問題からどのような弊害が起きているか？
- ③ そうした問題が起きている原因は何か？
- ④ 主たる解決策
- ⑤ その具体的内容
- ⑥ 問題がどのように解決されるのか？またはそこから得られる利益・恩恵
- ⑦ その場合に考えられる新たな弊害
- ⑧ 利益と弊害の比較・分析・評価

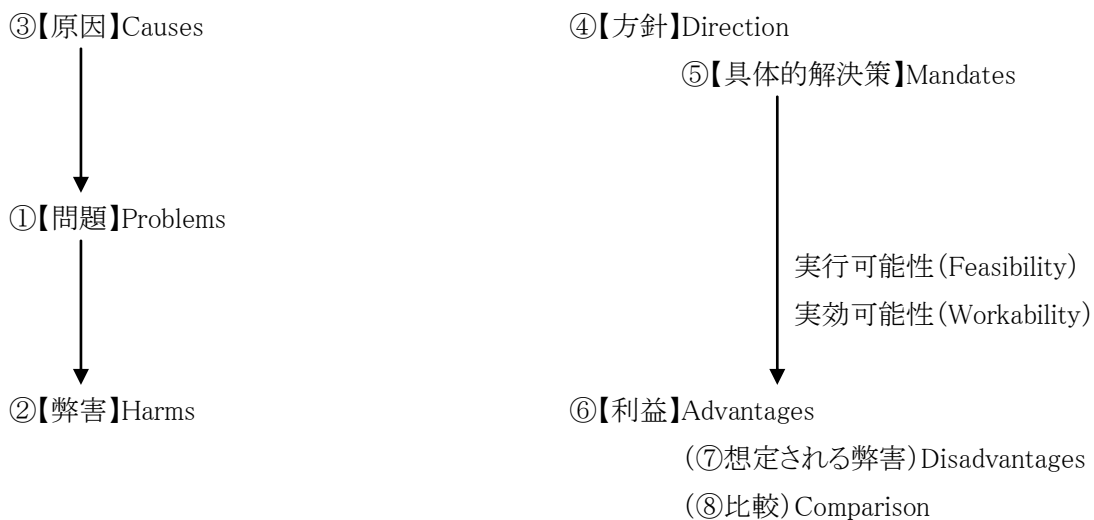


論文の種類

- 理論提唱型
- 理論検証型
- 先行研究評価型
- 政策評価型
- 歴史説明型
- 歴史評価型
- 予測型

Ⅲ 先行研究・参考文献の整理

- ① 先行研究における問題の所在、何が問題なのか？
- ② その問題からどのような弊害が起きているか？
- ③ そうした問題が起きている原因は何か？
- ④ 主たる解決策(自分の研究)
- ⑤ その具体的内容
- ⑥ 問題がどのように解決されるのか？またはそこから得られる利益・恩恵
- ⑦ その場合に考えられる新たな弊害
- ⑧ 利益と弊害の比較・分析・評価



IV 論文の枠組作り

- ① タイトル: 主題と副題
- ② 問題の所在 (についての要約) 問題の背景
- ③ リサーチ・クエスチョン【問い】
 - (a) どういった問題を、何を事例・題材として扱うのか? (what)
 - (b) なぜその問題を取り上げる必要があるのか? (why)
 - (c) どのような手段でそれを行なうのか? (how)
 - (d) どういった点をどの程度明らかにするのか? (to what extent)
- ④ 主要仮説【問いに対する答え】
- ⑤ 論文の主旨と重要性 ③の(b)とその重要性
- ⑥ 先行研究の要約 これまで、どういった問題が明らかにされ、どういった問題が明らかにされていないか?
- ⑦ 独自性 ⑥を踏まえ先行研究と本論文の異同
- ⑧ 研究対象(資料など) どういった資料・事例を用いるのか
- ⑨ 研究対象についての分析
- ⑩ 結論

V 基本的な構成

1. タイトル

主題—副題 広すぎるタイトル、狭すぎるタイトルは避ける
2. 問題意識

当該の対象の何が問題か?
そこには如何なる背景や前提があり、なぜ問題が生じているのか?
3. 問い(リサーチ・クエスチョン)

当該研究で検証されるべき「問い」は何か?

その問いは、何故、どのように答えられるべきか？

4. 主要仮説

問いに対しての主要な答え⇔対抗仮説の排除

5. 意義・重要性

なぜそのリサーチ・クエスションは重要なのか？

その研究にはどのようなメリットがあるか？

6. 唯一性・独自性

当該研究は従来の研究とどのように違うのか？

7. 先行研究

従来の研究動向(その特徴と限界)

8. 研究対象

何を調べて、何をどこまで明らかにするのか？

9. 方法論

どのような「方法」で研究対象を分析するのか

① 研究対象の種類

量的データ(Quantitative)／質的データ(Qualitative)／両者の折衷

② 研究アプローチ

国際比較／二カ国以上の比較／事例研究

10. データの解釈

根拠データに対しての主たる解釈

11. 結論

当該研究から得られる知見、結論は何か

V 執筆手順

- タイトルを決める
- アウトライン(目次)を定める→考察の手順
- リサーチ・クエスションを練る
- 主要仮説を検討する
- 方法論の定義とその妥当性の検証
- 先行研究の整理+批判
- 本文の執筆
- 主要な議論とそこから付随する論点の整理
- 上記の議論の展開
- 「はじめに」の執筆
- 「おわりに」の執筆
- 推敲する